

# 肺癌に関する観察研究のお知らせ

現在、浜松医科大学第二内科では、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」に従って、肺癌と診断された患者様の診療データを集積しよりよい治療を目指すことを目的として、臨床研究を行っています。

当院では、この観察（疫学）研究の目的に賛同し参加しております。以下にこの研究の内容を御紹介致します。

## 目的

進行肺癌において、抗癌剤治療が正常の肺血管に及ぼす影響を検討し、肺癌に対する治療の最適化をめざして医療の発展に寄与することを目的としています。

## 研究の方法について

当院の第二内科で進行肺癌の治療が行われた約120例の臨床データを集め、解析します。

## 対象とする患者様

2008年1月から2014年3月までに、進行肺癌と診断された患者様を対象とさせていただきます。

## 提供する診療情報について

病気の進行状況や治療内容、各治療の経過、治療効果、検査値、胸部CTなどで、個人を特定できるような個人名や住所などは一切含まれません。

## データの提供を拒否できます

主治医にお伝えいただければ、あなたの診療データを提出することは致しません。なお、この研究に協力しない場合であっても、患者様の診療などにおいて一切不利益になることはありません。

## 問合わせ先

主治医、もしくは下記にお願いいたします。

臨床腫瘍内科 特任助教 柄山正人

問合わせ先：浜松医科大学 内科学第二

連絡先：053-435-2273（内科学第二）（平日 8:30 ~ 17:00）

053-435-2704（西7階）（夜間・休日）